

# 中野区のコロナ対策の到達点と進行中課題（公開版中間報告その1）

2020.5.1 3版 区民の声・中野 蕪澤（にらさわ） 進



## I, 話し合いの場づくり

まず、緊急事態宣言発令が現実化してきた3月末に酒井区長とコロナ対策を中心にオンラインで話し合うルートをつくりました。参加者や具体的な方法論や話し合い頻度は部外秘です。酒井区長が参加する形と参加しない形があり、以下、仮に前者を対話A、後者を対話Bと称します。

## II, 課題テーマを選定

次にやるべき課題テーマを対話Aで提示しました。以下になります。最初から総合的に提案したものではなく、区民の声・中野のメンバーや立憲・共産区議団、生活者ネットさんから意見を集めて、それを対話Bでとりまとめました。追加意見があれば都度提示し、最終的には以下のようになっています。

- 【1】区長として区民むけメッセージを発信すること
- 【2】感染予防&医療体制の構築
  - ・PCR検査体制、隔離体制、・感染予防の啓発、・区の施設・保育学校施設への対応
  - ・自宅療養支援
- 【3】感染情報公開
- 【4】生活支援、事業支援
  - ・底辺の方への生活支援、・失職された方への生活支援、・ネカフェ住民等居住を失った方への居住支援
  - ・子育て世帯への支援、・個人商店・中小企業への事業継続支援、・文化芸術支援
- 【5】教育支援対応。オンライン教育対応
- 【6】Twitterなどでのアブナイ発信・区への批判に対する対応
- 【7】その他、他の自治体でこれはいいと思えるもの

## III, 課題別到達点と進行中課題

### 【1】区長として区民むけメッセージを発信すること

(1) 対話Aで最初にやるべきこととして「区長として区民むけメッセージを出すべき」と進言し、具体的な文面の案を対話Bで作成しました。文案作成にあたっては、区民の声中心メンバー、立憲区議団9名・共産区議団6名&地区委員長・生活者ネット元区議&代表へ何度も文案を送り知恵をあつめました。この文案作成と同時に課題抽出も行った感じです。



(参考) 区長がメッセージを出すことは絶対必要です。

大事なことは、酒井区長の人柄に沿って発信すること（ブランディング）です。

まず、「区民に、特に弱者に寄り添う」感じの発信をするというコンセプトで文案をつくっています。まずは、子どもやお年寄りや失職者など弱者に寄り添う姿勢です。その次に事業者むけメッセージを。その際、「経済活動を相当の範囲で止めないと感染を抑制できない」「だから経済活動を止めることによる生活困窮をすくう責任が政治にはある」という文脈で発信することが大事だと思います。

酒井区長はメッセージ発信を決意し、文面提案に感謝いただきましたが、区の内部議論で文面は少し抽象的になり、訴求力が弱まりました。

そこで、HP掲載文とは別にJCOMの録画動画で直接区長メッセージを流すように手配し、録画撮りして放映しました。

(2)そして、対話Aで「区長はメッセージを定期的に何回も発信すべきだ」と提言し、酒井区長は再発信を準備しています。

(参考) 対話Aでの提言

お疲れ様です。区長として繰り返し、何度でもメッセージを発信することが大事なのではないのでしょうか？「区民の命や生活がおびやかされている状況」に対して、「心から寄り添う姿勢」と、「できることを精一杯やる姿勢」をことあるごとに何度でも示して欲しいと思います。行政としては、そういうメッセージの出し方はあまりしたことがない（同じことは何度も言わない）のだと思いますが、今までやっていたやり方の範囲では、区民の心に届かないのだと思います。とにかく、繰り返し、何度でも。

吹田市長は、3/5、3/31、4/8、4/21と、4回発信しています。

<https://www.city.suita.osaka.jp/coronavirus/message.html>

## 【2】感染予防&医療体制の構築

2つ目の課題については、まず感染予防対応です。

(1)まず、入学式・入園式についての決断です。区の施設の使用停止、小学校入学式での来賓列席無し、区長もすぐに決断しましたが、小中学校の入学式が体育館での開催予定になっていること、小学校での学年交替制での登校日が週3日あることにママさんたちから不安の声があがりました。

そこでこの声を対話Aで区長へ伝え、他の区の判断状況も一覧にして伝えたところ、4/5（入学式前日）に入学式の校庭開催等の決断がされ、翌4/6に4/8保育園幼稚園の入園式も延期が決断されました。

\*3月初旬には急な小中学校休校で子どもの行き場がないことが問題になっていましたが、3月後半にはむしろ子どもへの感染を心配する声の方が大きくなっていました。

(参考) Twitterなどで活用したバナーの文言

#中野区 本日4/5教育長が対応を協議して #緊急決断 明日4/6が小学校の入学式 ギリギリの決断に拍手です！

1) 入学式・入園式は校庭で規模を縮小して短時間で実施

#中野区 新型コロナ感染拡大を受けて

#緊急決断 #校庭で入学式 #コロナ対策

4/6 小学校入学式 4/7 中学校入学式

1) 入学式・入園式は校庭で規模を縮小して短時間で実施  
歌も歌わない 前回案内同様に来賓・在校生の列席・参加はなし

2) 始業式は、もともと校庭で開催でしたが、  
保護者向け通知を配付、予定等を説明し、すぐに下校へ  
小学校は4/7学年別時差登校で諸連絡のみ実施

3) 4/8~4/20の期間、希望者対象の学年別補充学習教室を中止

#区民の声を聴く中野区政へ

歌も歌わない 前回案内同様に来賓・在校生の列席・参加は無し

2) 始業式はもともと校庭で開催予定でしたが、保護者向け通知を配付、予定等を説明し、すぐに下校へ

(小学校は4/7学年別時差登校で諸連絡のみ実施です)

3) 4/8~4/20の期間、希望者対象学年別補充教室を中止します。

#中野区 #新型コロナ感染拡大を受けて 昨日に続いて、#緊急決断 Vol.2 4/8区立幼稚園入園式は延期!

(2) ついで、保育園の原則休園判断です。保育園への預け自粛の要請と自粛をした人の保育料減免については区長が早期に決断しましたが、「原則休園」になっていないことで「子どもへの感染が心配、原則休園にしてくれた方が会社へテレワークの交渉がしやすい」という声がママさんたちからあがりました。最初は私も休園にすると働けない人が出るのではないかと危惧したのですがママさんたちに説得されました。他の区でも「原則休園」にしたところが出てきていたので、これを区長へ伝え、何度もやりとりして、4/13~「どうしても休めない人には対応する」という特例を保証したうえで保育園・学童クラブは「原則休園」となり、ママさんたちから感謝されました。中野の決断を伝え聞いて練馬のママさん達は署名活動をはじめたとのことです。また、区の公園の大型遊戯は子どもたちの密集の恐れがあるので使用中止になりました。

(3) そして、PCR検査体制・隔離体制の課題です。特にPCR検査機能については対話Aでも提言し、酒井区長は早くから医師会との協議をしているとのことでした。その協議が実って4/29~中野区PCRセンターが水木土の週3日で稼働しました。場所は非公開で、区内のかかりつけ医に電話相談して、かかりつけ医の判断でPCRセンターへという流れです。

軽度陽性者の隔離施設の設置についても対話Aで伝えましたが中野区内に適切なホテルがなく、区長が都に新宿区の西側にホテルを用意できないか要請したとのことでした。結果待ちの状況です。

自宅で療養している人には足立区の自宅療養支援セットのことを対話Aで区長へ伝え、中野区でも実施することとなり準備中とのことでした。

**【追記】5/1補正予算が成立し、緊急対策第1弾のなかに以下の対策が盛り込まれました。**

#### 1. 医療など最前線の現場を支える

- ・中野区PCRセンター設置8,923万円 対応医師の方への補償も!
- ・軽症陽性で在宅待機者へ食事日用品セットを配布476万円
- ・私立保育園幼稚園へマスク・消毒液購入費を補助7,425万円



中野区HPの「コロナ対策頁」がグンと見やすくなったよ!

そして…

**中野区PCRセンター(仮称)稼働!**

4/29~毎週水・木・土  
区と医師会のタッグで…  
医師の方々に感謝

**中野区やるじゃん!**

### 【3】感染情報公開の課題

この課題は、中野区の北部にある江古田病院での院内感染の発生で問題が明らかになりました。江古田病院での初期対応と情報公開に問題があったので、これに区政が巻き込まれないように経過を別途整理して区民ベースで拡散しました。

(参考) 江古田病院の院内感染発生の経過

- 4/1 中野区保健所に江古田病院から「熱を出している患者がいる」との連絡があった
- 4/3 中野区保健所が(検査結果が出る前だが、)江古田病院に外来・面会中止を要請
- 4/4 (発熱した人を)検査した結果、5人の感染が判明(結果判明に3～4日かかる)
- 4/5 外来・面会中止
- 4/7 都が立ち入り検査、江古田病院のHPで感染発生を表明
- ～4/12 入院患者・医師・看護師・職員の検査を実施、87名の感染が判明
- 4/13 都知事会見で表明 4/14 区のHPに掲載

この江古田病院の件で中野区が発表しなかったのは「区内感染者の情報公開の基準」に則った対応です。公開基準では「中野区は「都が発表する中野区内の感染者数」をHPに掲載し、別途「区施設等の利用者や職員など、区が管理者として対応する必要がある場合」に限定して「1.感染者の年代、性別、居住地(区内・区外)など、2.感染者の症状・経過など、3.感染者の渡航歴及び行動歴など、4.公衆衛生上の対策」を公開」しています。江古田病院は区の施設ではないので、この公開基準には該当せず、粛々と都の発表する感染者数を公開していたわけです。意図的な隠ぺいではないですが、しかし区民目線からは釈然としない気持ちになります。そこで、近隣の区や先進的な感染者情報を公開している自治体を調べて対話Aで区長に提言しました。「区内感染者についての情報公開の基準を変更し、すべての区内感染者を対象にして情報を公表することはできないでしょうか?」「できれば明石市の様な公開基準に、少なくとも練馬区の様な公開基準に変更できないでしょうか?」と求めました。これについては区長も「私は同じ考えですが、区の職員がなかなか追いついてきません」とのことでした。情報公開のためには一人一人に公開の可否を確認する業務が必要になり、一回の問い合わせで結論が出ないことや後から「やっぱりお断りします」ということも想定され、区の職員も激務になっているのでそこまで手が回らない状況もあり、継続課題です。

#### ●区民目線で理想的だと思える情報公開

【明石市】感染者全員の判明日、年代・性別、居住地、経過、現在の状態、濃厚接触者の調査状況を公表

[http://www.city.akashi.lg.jp/anshin/corona/sinai\\_kansen.html](http://www.city.akashi.lg.jp/anshin/corona/sinai_kansen.html)

#### ●区民目線で、これくらいはして欲しいと思える情報公開。

【練馬区】区内発症者全員の、公表日、性別、年代を公表。

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/hokenfukushi/hoken/kansensho/2019-nCoV/ruikei.html>

#### ●その他近隣区の状況

【杉並区】区内発症者全員の、週別人数を公表。年齢構成は累計でグラフ表示。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/news/kansensho/covid-19/1058987.html>

【渋谷区】累計の、中軽症者・重症者・入院・死亡・退院者別の人数のみ公表。

[https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kurashi/kenko/kansen/corona\\_info.html](https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kurashi/kenko/kansen/corona_info.html)

【豊島区】日別の累計感染者数のみ公表

<http://www.city.toshima.lg.jp/999/kenko/covid19/kansensyasuu.html>

【新宿区】1.区有施設利用者（職員等含む）が感染した場合、2.区内で感染が確認され、その感染に起因して、感染拡大の恐れがある場合のみ公表。事実上は、1.のみの模様。

[https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/cln202002\\_kns01.html](https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/cln202002_kns01.html)

【世田谷区】日別の感染者（陽性者）数のみ公表。性別・年代・住まいの地域は非公表。

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kusei/001/001/004/d00185364.html>

【文京区】独自の公表なし。「区内感染者について、年齢や性別、区内の発生エリア等の情報は一律に公表することはありません。」

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/hoken/kenko/kansensho/ncov.html>

#### 【4】生活支援、事業支援

（1）この課題は、区独自ですぐにできることが少ないことが特徴です。まずは国や都の制度を紹介することになるのですが、肝心の区のHPが見にくくて、どこに何が書いてあるのか探すのが大変でした。そこで、まず「こういうお困りごとには、こういう制度があり、窓口はここ」という一覧情報を区議さんの協力で作成し、対話Aで提言し、とりあえずは区民ベースで拡散しました。追って4/27区のHPが刷新され、見やすく改善されました。チャットポッドという質問機能も付きました。

<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/index.html>

このHPのリニューアルには広告アドバイザーの年度内任用職員の契約ができたことが力になっています。実はこの予算について1月区議会で自公が削減修正動議を出してもめたのですが、区の毅然とした対応と区民のSNS拡散やロビイングや傍聴の活動で取り下げさせた経過があります。この時の頑張りが早速生きています。

（2）また、酒井区長の決断で事業者むけに「中野区が利子を補填し、無利子で借りられる融資」を4/1から開始しました。ただ事業者支援の融資制度があっても窓口での融資審査に時間がかかったらいけないという問題提起を区議さんからいただき、実態を区議さんと酒井区長の双方から把握して、最短での融資判断となるように交通整理をお願いしました。最短4日で融資という実績もできました。

（3）次に、区の予算措置がなくてもすぐにできることはないかと知恵を絞りました。酒井区長は区職員時代に中野区観光協会の設立に関わった経過があるので「まるっと中野」という同協会のサイトで4月はじめの段階で「テイクアウト・出前」ができるお店の紹介をしていました。加えて、対話Aで柏市の「アステケ」のような取り組みをしようという提言を行い、4月中旬には観光協会主体で中野の商店応援のクラウドファンディングを立ち上げました。

（4）他にも、区役所・介護施設・区内の病院・保育園・児童館などへのマスク・消毒液の供給、虐待・DVなどの相談窓口の案内、ネカフェ住民への居住斡旋、失職者向けに区で期間限定雇用創出、子育て世帯への支援・特に就学援助世帯やひとり親家庭への支援、などを対話Aで提言・やりとりし、検討中です。

**#中野区 #緊急コロナ対策第1弾 5/1補正予算成立!**

1. 医療など最前線の現場を支える

- ・中野区 PCRセンター設置 対応医師の方への補償も!
- ・軽症陽性で在宅待機者へ食事日用品セットを配布
- ・私立保育園幼稚園へマスク・消毒液購入費を補助

2. 生活を支援、子育てを支援、事業を支援

- ・1人10万円の給付金→5月中の振込開始めざす!
- ・緊急小口資金の貸し付け窓口機能を強化支援
- ・失業・収入源による区民税・国保料相談窓口の拡充
- ・子育て世帯(児童手当受給者)へ一律1万円支給
- ・妊婦さんへ子ども商品券(タクシー・移動・物品購入)1万円配布
- ・小中高校生自宅オンライン学習環境の整備へ、タブレット・ルーターを貸出!
- ・就学援助世帯へ1日500円(給食費相当として4月～)支給、
- ・緊急応援資金融資を区が利子負担して実施! 融資相談窓口も強化!

このあたりのことは補正予算を通さないといけないので、与野党拮抗の区議会対策も行われました。そして追記になるような緊急対策第1弾として発表されました。まだまだ残課題はありますが、まずは第1歩です。詳しくはコチラ↓

[https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/102500/d028845.html?fbclid=IwAR0h8PA-JNeKpb1apM\\_7FEtmmXou\\_Dy6h1WGu-QhxpNh0vuO--Ix\\_igqk9o](https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/102500/d028845.html?fbclid=IwAR0h8PA-JNeKpb1apM_7FEtmmXou_Dy6h1WGu-QhxpNh0vuO--Ix_igqk9o)

【追記】5/1 補正予算が成立し、緊急対策第1弾のなかに以下の対策が盛り込まれました。

## 2. 生活を支援、子育てを支援、事業を支援

- ・1人10万円の【国】給付金343億9,571万円→5月中の振込開始めざす！
- ・緊急小口資金の貸し付け窓口機能を強化支援464万円
- ・失業・収入源による区民税・国保料相談窓口の拡充 区税1,677万円・国保2,592万円
- ・子育て世帯（児童手当受給者）へ一律1万円支給 2億6,915万円
- ・妊婦さんへ子ども商品券（タクシー移動・物品購入）1万円配布3,635万円
- ・就学援助世帯へ1日500円（給食費相当として4月～）支給、4,397万円
- ・緊急応援資金融資を区が利子負担して実施！1億2,962万円 融資相談孫口も強化！470万円  
などなど

## **【5】教育支援対応。オンライン教育対応**

この課題もママさんたちからの要望が強いです。オンライン端末やWiFi端末を援助が必要な家庭に配布するなどのインフラ整備は区の管轄で準備中なのですが、オンライン授業の内容づくりは教育委員会の役割なので、いまいち動きが見えておりません。大きな課題です。

【追記】5/1 補正予算が成立し、緊急対策第1弾のなかに以下の対策が盛り込まれました。

- ・小中校生自宅オンライン学習環境の整備へ、タブレット・ルータを貸出！3億4,388万円

## **【6】Twitter などでのアブナイ発信・区への批判に対する対応**

この課題では、ママさんたちが敏感なので、「区長のこの発信のしかたはマズイ」とか「このツイート・リプライにはすぐに対応したほうがいい」とか、日々情報が届きます。それを対話Aで共有して対処しています。このようなSNS対応は正式なチーム編成をしていく必要を感じています。

## **【7】その他、他の自治体でこれはいいと思えるもの**

「これはいい！中野区でもできないか？」そう思ったニュースはすぐに対話Aで共有しています。すぐにできるかどうかは別として、「そういう方法もある」という発想の選択肢を広げていくことはとても大事です。たとえばアメリカの流通ニュースのなかから「スーパーが開店後1時間は高齢者専用買い物タイムにしている」という情報をキャッチして提言したりしています。実際に日本でもコストコやライフが実践を開始しています。

以上です。これはHPに載せていただけるように作成しました。